

標準委員会 第22回基盤・応用技術専門部会議事録

1. 日 時 2013年12月2日(月) 10:00~11:10

2. 場 所 5東洋海事ビル 会議室D

3. 出席者(敬称略)

(出席委員) 岡本(部会長 途中退室), 萩原(副部会長), 吉田(幹事), 石川, 伊藤(途中入室), 上野, 北島, 越塚, 堺(途中入室), 坂本, 宿谷, 田中, 西田, 沼田, 宮坂(15名)

(代理委員) 工藤代理(MHI原子力エンジニアリング/岡本部会長退室時より)(1名)

(欠席委員) 市川, 岩崎, 西谷, 日比, 山口(5名)

(欠席常時参加者) 笠原, 鈴木(2名)

(説明者) 初岡(原子力安全推進協会), 福島(株東芝)(2名)

(傍聴者) 新崎(原子力エンジニアリング), 中村((財)エネルギー総合工学研究所), 湊(日立GEニュークリア・エナジー)(3名)

(事務局) 室岡(1名)

4. 配付資料

ATC22-0 議事次第

ATC22-1 前回議事録(案)

ATC22-2 人事について

ATC22-3-1 【中間報告】「原子力施設の廃止措置の実施:20XX」改定の概要

ATC22-3-2 「原子力施設の廃止措置の実施」標準改定の概要

ATC22-3-3 「原子力施設の廃止措置の実施:20XX」標準案

ATC22-4 学協会規格の整備計画(中間報告)の見直しにおいて追加すべき標準候補の検討結果について

ATC22-5 分科会の活動状況について

参考資料

ATC22-参考1 基盤・応用技術専門部会委員名簿

ATC22-参考2 標準委員会の活動状況

5. 議事内容

事務局から,開始時点で委員20名中13名出席で,成立に必要な定足数(14名以上)を満足していないため,議決を要する事項は定足数以上の出席に達してからとする旨報告された。その後10:06時点で14名の出席となったため,定足数を満足している旨報告された。

(1) 前回議事録(案)の確認(ATC22-1)

事務局から,前回議事録(案)について説明があり,前回議事録(案)は承認された。

(2) 人事について(ATC22-1)

事務局から,資料ATC22-1に基づき,専門部会及び分科会の人事について以下のとおり紹介を行った。

1) 専門部会

委員の退任【報告事項】

笠原 文雄（原子力安全基盤機構）

常時参加者の登録【承認事項】

笠原 文雄（原子力安全基盤機構）

審議の結果、笠原氏の常時参加者登録が承認された。

2) 分科会

委員の退任【報告事項】

廃止措置分科会

山中 武（原子力安全基盤機構）

常時参加者の登録【承認事項】

廃止措置分科会

山中 武（原子力安全基盤機構）

広瀬 恵美子（株東芝）

木村 淳一（原子力規制庁）

審議の結果、分科会の3名の常時参加者登録が承認された。

(3) 【中間報告】「原子力施設の廃止措置の実施：20XX」改定の概要（ATC22-3-1，ATC22-3-2，ATC22-3-3）

廃止措置分科会の初岡委員，福島委員から資料ATC22-3-1，22-3-2，22-3-3に基づき，「原子力施設の廃止措置の実施」標準の改定の概要について報告があった。質疑・コメント等は下記のとおり。

Q. 廃止措置の実施と廃止措置の計画は一つの標準としてしまった方が良いのでは。

廃止措置の計画については，エンドースするために切り分けた経緯があり，解説でこの旨を記載する。

廃止措置対象施設の状況の把握に関して，記載が少ない。計画の標準に記載しているからと考えるが，そのことがわかるように本標準にも記載した方がよい。

拝承。

審議の結果，本日のコメントを反映した上で，次回標準委員会へ中間報告することが承認された。

(4) 【報告・審議】「学協会規格の整備計画（中間報告）の見直しにおいて追加すべき標準候補の検討結果について」（ATC22-4）

萩原副部長から資料ATC22-4に基づき，学協会規格整備計画の見直しに追加する標準候補の検討結果について報告があった。

質疑・コメント等は特になく，リスク専門部会，システム安全専門部会との調整を図ること，引き続き今後の進め方を検討することとなった。

(5) 基盤・応用技術専門部会 分科会活動状況（ATC22-5）

事務局から，ATC22-5に基づいて各分科会の活動状況が報告された。

6 . その他

・ 次回第23回基盤・応用技術専門部会は，2月20日（木）10時からとした。

以上